



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年4月11日
東・札上場会社名 北雄ラッキー株式会社 上場取引所
コード番号 2747 URL https://www.hokuyu-lucky.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桐生 宇優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 高橋 徹 (TEL) 011-558-7000
管理本部長

定時株主総会開催予定日 2025年5月27日 配当支払開始予定日 2025年5月28日

有価証券報告書提出予定日 2025年5月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の業績 (2024年3月1日~2025年2月28日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	36,912	△2.7	243	△52.3	205	△61.7	142	△53.5
2024年2月期	37,919	0.5	509	35.5	535	28.0	306	138.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	112.71	—	2.5	1.1	0.7
2024年2月期	242.57	—	5.6	3.0	1.3

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 -百万円 2024年2月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	18,175	5,715	31.4	4,522.15
2024年2月期	17,916	5,615	31.3	4,442.97

(参考) 自己資本 2025年2月期 5,715百万円 2024年2月期 5,615百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	231	△363	72	507
2024年2月期	581	0	△659	567

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00	63	20.6	1.2
2025年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00	63	44.4	1.1
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		25.3	

3. 2026年2月期の業績予想 (2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,800	3.6	196	561.2	182	—	120	523.1	94.94
通期	37,900	2.7	427	75.7	400	95.1	250	75.5	197.80

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年2月期	1,264,640 株	2024年2月期	1,264,640 株
2025年2月期	725 株	2024年2月期	725 株
2025年2月期	1,263,915 株	2024年2月期	1,263,915 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料P. 4「1. 経営成績等概況の（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用および所得環境の改善やインバウンド需要の継続的な増加による経済効果などもあり、概ね回復基調となりました。一方、世界情勢につきましては、米国の政策動向による影響や金利および為替変動などによる物価上昇の長期化への懸念など、先行きの見えない状況が続きました。

スーパーマーケット業界につきましては、昨年夏以降の米価の高止まりや野菜価格の高騰をはじめとする物価上昇により、生活者の節約意識や生活防衛意識が高まった他、人件費、水道光熱費をはじめとしたコストの上昇、業種・業態を越えた企業間の競争激化もあり、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中、当社は以下の重点項目について取組みを行いました。

- ① 差別化戦略としての6MD商品の強化（6MD商品政策の推進）
- ② 来店頻度向上を目的とする販売力の強化
- ③ マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性の向上
- ⑥ 財務体質の強化

①の商品政策面では、6つの商品政策の柱（6MD）のうち、特に「テイスティラッキー」（高品質商品）、「ナチュラルラッキー」（オーガニック食材など）の二つに重点を置いております。これにより、お客様には品質の差を訴求し、競合他社との優位性の確保を図りました。

②、③につきましては、従来のチラシ販促に加え、店頭におけるメニュー提案動画の配信やSNSを使った情報発信を組み合わせることによって、ストアロイヤリティの向上を目指します。ファミリー顧客層の深耕につきましては、フードコーディネーターによる新商品開発や、順次実施している店舗改装において、手に取りやすく、買い回りしやすい店舗づくりを行うなどの点に注力しております。

④のラッキー生鮮・デリカセンターは2021年の稼働開始以来順次稼働率を上げ、商品製造を機械化集中する事でコスト削減を実現しております。

⑤につきましては、2023年10月以降、各店にセルフレジの導入を実施しております。同時に行うキャッシュレス決済端末の入れ替えと併せ、待ち時間の短縮を実現いたしました。このレジ更新により経費の軽減も見込まれ、コスト体質改善に取り組みました。

⑥につきましては、収益力強化と自己資本比率向上等、財務体質の改善を目指しました。

当事業年度の売上高は369億12百万円で、前期比97.3%、10億6百万円の減少となりました。売上総利益は101億59百万円、5億56百万円の減少となりました。売上総利益率は27.5%と前期比0.7%減少いたしました。

販売費及び一般管理費では、減価償却費が前期比1億21百万円増加した一方、給料及び手当が前期比1億35百万円減少、賞与引当金繰入額が同31百万円減少、雑給が同73百万円減少、地代家賃が同1億20百万円減少となりました。合計では、前期比97.2%となり2億96百万円減少しております。

経常利益は、2億5百万円（前期比38.3%）、3億30百万円の減少となり、特別利益としてdポイント導入支援金61百万円、特別損失として減損損失23百万円、固定資産除却損13百万円を計上したことで税引前当期純利益は2億27百万円（前期比52.2%）、2億8百万円の減少となりました。

設備投資につきましては、2024年8月に「ラッキーマート白老店」、同年11月に「ラッキーマート南幌店」を新装開店しております。また、同年3月に「ラッキー岩内店」の店舗改装を実施しております。2025年2月28日現在の店舗数は、33店舗であります。

これらの結果、当事業年度の経営成績は、売上高369億12百万円（前期比97.3%）、営業利益2億43百万円（同47.7%）、経常利益2億5百万円（同38.3%）、当期純利益1億42百万円（同46.5%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は、181億75百万円（前事業年度末179億16百万円）となり、2億58百万円増加いたしました。

その主な要因は、差入保証金が3億60百万円減少したものの、商品及び製品が1億58百万円増加、建物（純額）が3億24百万円増加、リース資産（純額）が1億3百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、124億59百万円(前事業年度末123億1百万円)となり、1億58百万円増加いたしました。

その主な要因は、短期借入金が16億円減少、1年内返済予定の長期借入金が5億54百万円減少、未払金が1億38百万円減少したものの、長期借入金が25億43百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、57億15百万円(前事業年度末56億15百万円)となり、1億円増加いたしました。

その主な要因は、株主配当により63百万円減少したものの、当期純利益の計上が1億42百万円、その他有価証券評価差額金が20百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、当事業年度末には5億7百万円(前事業年度の期末残高は5億67百万円)となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、2億31百万円(前事業年度は5億81百万円の資金獲得)となりました。

これは主に、棚卸資産の減少が1億65百万円、法人税等の支払額の減少が1億45百万円であった一方、減価償却費の計上が5億61百万円であったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億63百万円(前事業年度は720千円の資金獲得)となりました。

これは主に、差入保証金の回収によるものが4億5百万円であった一方、有形固定資産の取得による支出が6億6百万円、事業譲受による支出が92百万円であったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、72百万円(前事業年度は6億59百万円の資金使用)となりました。

これは主に、短期借入金の純減少額が16億円、長期借入金の返済による資金使用が36億71百万円、リース債務の返済による支出が2億53百万円であった一方、長期借入れによる資金獲得が56億60百万円であったことなどによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
自己資本比率(%)	27.9	28.1	30.1	31.3	31.4
時価ベースの自己資本比率(%)	21.6	19.6	21.0	22.4	21.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	9.9	—	6.4	12.1	32.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	29.1	—	48.2	27.4	5.2

(注) 1. 各指標の算定方法は次のとおりであります。

自己資本比率：(自己資本)÷(総資産)

時価ベースの自己資本比率：(株式時価総額)÷(総資産)

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：(有利子負債)÷(営業キャッシュ・フロー)

インタレスト・カバレッジ・レシオ：(営業キャッシュ・フロー)÷(利払い)

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式(自己株式を除く)により算定しております。

3. (営業キャッシュ・フロー)は、キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。

4. (有利子負債)は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. (利払い)は、キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

6. 2022年2月期及び2025年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しにつきましては、緩やかな回復基調が続くと期待される一方で、海外経済の下振れや、為替変動による輸入物価の上昇、エネルギー価格の上昇に起因する更なる国内物価の上昇が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

スーパーマーケット業界につきましては、物価高騰の長期化や企業間の競争が業種・業態を越えて更に激化することに加え、人件費やエネルギーコストなどの各種経費について更なる増加が見込まれるなど、経営環境は厳しい状況が続くものと思われまます。

当社はこのような状況の中、地域顧客のライフラインとしての役割を担いつつ、持続的な事業運営に努めており、「商品力」、「販売力」及び「マーケティング力」の強化に最大限傾注することにより、更なる成長を実現すべく経営基盤の強化に努めております。次期におきましても、多様化する顧客ニーズに的確に対応し、事業の継続性・安定性・収益性・成長性の確保を目指してまいります。

重点課題としては、以下の項目について対応してまいります。

- ① 差別化戦略としての6 MD商品の強化(6 MD商品政策の推進)
- ② 来店頻度向上を目的とする販売力向上
- ③ マーケティング力強化によるファミリー顧客層の拡大
- ④ ラッキー生鮮・デリカセンターの稼働に伴う商品供給の拡大と体制の確立
- ⑤ ローコスト運営の徹底と業務効率の改善による生産性向上
- ⑥ 財務体質の強化

次期の投資計画として、2025年9月に「ラッキー千歳錦町店」の改装を計画しております。同年10月には「低温センター」の改修を計画しております。その他の設備投資につきましては、引続き堅実な範囲にて実施してまいります。

2026年2月期の業績予想につきましては、競合他社との激しい競争下にあることなどを考慮し、売上高379億円(前期比2.7%増)、営業利益4億27百万円(同75.7%増)、経常利益4億円(同95.1%増)、当期純利益2億500万円(同75.5%増)を見込んでおります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。今後、当社を取り巻く市場の経済情勢等により、実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性があることをあらかじめご承知おき下さい。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様方に対する利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置づけしており、財務体質の強化を図るとともに、業績に応じて安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。また内部留保資金につきましては、今後の新店舗建設や既存店舗の増改築などの投資に有効活用してまいります。

この方針に基づきまして、当期の配当につきましては、1株につき期末配当金50円の配当を実施することを予定しております。

また、株主の皆様への利益還元の一環として実施しております株主優待制度につきましては、決算期末100株以上を保有する株主様に対し以下の内容にて、株主優待品を贈呈させていただいております。

株主優待制度の内容

保有株式数	基準日	優待内容
100株以上200株未満	毎年2月末日	年1回、1,000円相当のJCBギフトカードを贈呈。
200株以上1,000株未満	毎年2月末日	年1回、5,000円相当のJCBギフトカードもしくは「北海道特産品」を贈呈。
1,000株以上	毎年2月末日	年1回、10,000円相当のJCBギフトカードもしくは「北海道特産品」を贈呈。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,697,826	1,637,920
売掛金	983,199	1,044,285
商品及び製品	1,612,605	1,770,992
原材料及び貯蔵品	60,574	67,269
前払費用	79,927	87,596
未収入金	447,357	453,826
未収消費税等	—	18,676
未収還付法人税等	—	25,580
その他	95,703	5,153
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	4,976,926	5,111,033
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,476,696	12,077,150
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,649,918	△7,926,094
建物(純額)	3,826,778	4,151,056
構築物	762,470	812,482
減価償却累計額及び減損損失累計額	△644,927	△663,975
構築物(純額)	117,543	148,506
機械及び装置	2,176	3,897
減価償却累計額	△1,211	△1,454
機械及び装置(純額)	964	2,443
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,522	△7,522
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	441,575	447,154
減価償却累計額及び減損損失累計額	△410,859	△422,368
工具、器具及び備品(純額)	30,716	24,785
土地	6,038,177	6,066,247
リース資産	1,132,122	1,387,583
減価償却累計額及び減損損失累計額	△399,333	△550,897
リース資産(純額)	732,788	836,685
建設仮勘定	6,127	9,185
有形固定資産合計	10,753,094	11,238,909

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
無形固定資産		
ソフトウェア	34,661	39,232
のれん	—	14,755
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	52,890	72,216
投資その他の資産		
投資有価証券	254,423	280,686
出資金	479	479
長期前払費用	47,310	41,023
繰延税金資産	389,719	349,696
長期預金	100,000	100,000
差入保証金	1,341,768	981,505
投資その他の資産合計	2,133,702	1,753,391
固定資産合計	12,939,687	13,064,518
資産合計	17,916,614	18,175,551

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当事業年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,330,678	2,327,665
短期借入金	3,550,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	1,024,814	469,835
リース債務	229,572	292,540
未払金	537,295	398,535
未払費用	316,914	287,865
未払法人税等	110,261	31,648
未払消費税等	29,904	—
前受金	18,025	15,822
預り金	642,616	634,238
賞与引当金	112,373	81,352
流動負債合計	8,902,456	6,489,503
固定負債		
長期借入金	1,546,386	4,090,181
リース債務	657,666	711,133
退職給付引当金	852,888	821,186
長期預り保証金	254,118	244,694
資産除去債務	65,910	81,591
長期末払金	21,650	21,650
固定負債合計	3,398,620	5,970,436
負債合計	12,301,077	12,459,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	2,078,646	2,157,903
利益剰余金合計	4,543,646	4,622,903
自己株式	△2,054	△2,054
株主資本合計	5,534,614	5,613,872
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,922	101,738
評価・換算差額等合計	80,922	101,738
純資産合計	5,615,537	5,715,610
負債純資産合計	17,916,614	18,175,551

(2) 損益計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
売上高	37,919,504	36,912,687
売上原価		
商品期首棚卸高	1,525,988	1,612,605
当期商品仕入高	27,289,877	26,911,423
合計	28,815,866	28,524,028
商品期末棚卸高	1,612,605	1,770,992
商品売上原価	27,203,261	26,753,035
売上総利益	10,716,243	10,159,651
営業収入		
不動産賃貸収入	251,358	244,393
営業収入合計	251,358	244,393
営業総利益	10,967,601	10,404,045
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	323,937	315,337
配送費	858,347	854,310
販売手数料	146,581	156,600
給料及び手当	2,168,025	2,032,681
賞与引当金繰入額	112,373	81,352
退職給付費用	99,844	87,099
雑給	2,416,845	2,343,495
水道光熱費	1,039,536	1,021,189
減価償却費	440,457	561,565
地代家賃	779,910	659,187
その他	2,071,906	2,048,081
販売費及び一般管理費合計	10,457,767	10,160,902
営業利益	509,834	243,143
営業外収益		
受取利息	4,602	4,993
受取配当金	9,138	10,302
受取事務手数料	13,214	5,391
助成金収入	2,131	1,501
雑収入	19,728	27,605
営業外収益合計	48,816	49,793
営業外費用		
支払利息	21,275	44,855
雑損失	2,093	2,101
シンジケートローン手数料	—	40,971
営業外費用合計	23,368	87,928
経常利益	535,281	205,008
特別利益		
受取補償金	—	61,200
特別利益合計	—	61,200
特別損失		
固定資産除却損	24,511	13,522
減損損失	74,280	23,541
その他	—	1,491
特別損失合計	98,792	38,554
税引前当期純利益	436,489	227,653
法人税、住民税及び事業税	120,379	46,326
法人税等調整額	9,519	38,873
法人税等合計	129,898	85,199
当期純利益	306,590	142,453

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
					別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	1,835,251	4,300,251	△2,054	5,291,220
当期変動額									
剰余金の配当						△63,195	△63,195		△63,195
当期純利益						306,590	306,590		306,590
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)							-		-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	243,394	243,394	-	243,394
当期末残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	2,078,646	4,543,646	△2,054	5,534,614

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	37,679	37,679	5,328,899
当期変動額			
剰余金の配当			△63,195
当期純利益			306,590
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	43,242	43,242	43,242
当期変動額合計	43,242	43,242	286,637
当期末残高	80,922	80,922	5,615,537

当事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	2,078,646	4,543,646	△2,054	5,534,614
当期変動額									
剰余金の配当						△63,195	△63,195		△63,195
当期純利益						142,453	142,453		142,453
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								—	—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	79,257	79,257	—	79,257
当期末残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	2,157,903	4,622,903	△2,054	5,613,872

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	80,922	80,922	5,615,537
当期変動額			
剰余金の配当			△63,195
当期純利益			142,453
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	20,816	20,816	20,816
当期変動額合計	20,816	20,816	100,073
当期末残高	101,738	101,738	5,715,610

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	436,489	227,653
減価償却費	440,457	561,565
長期前払費用償却額	8,248	6,287
減損損失	74,280	23,541
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,176	△31,020
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,503	△31,702
受取利息及び受取配当金	△13,741	△15,296
その他の営業外損益 (△は益)	△32,981	8,575
その他の特別損益 (△は益)	—	△59,708
支払利息	21,275	44,855
固定資産除売却損益 (△は益)	24,511	13,522
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,127	△61,086
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△93,064	△165,083
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,139	△3,013
預り金の増減額 (△は減少)	△123,725	△8,377
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△117,397	△48,581
預り保証金の増減額 (△は減少)	△4,339	△9,424
その他	53,771	△93,166
小計	654,190	359,539
利息及び配当金の受取額	9,832	11,451
その他の収入	35,074	95,697
利息の支払額	△21,247	△45,576
その他の支出	△17,613	△44,564
法人税等の支払額	△78,717	△145,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	581,518	231,300
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△203,219	△606,913
無形固定資産の取得による支出	△9,760	△30,783
差入保証金の差入による支出	△12,886	△31,869
差入保証金の回収による収入	235,786	405,081
事業譲受による支出	—	△92,530
その他	△9,199	△6,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	720	△363,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400,000	△1,600,000
長期借入れによる収入	1,206,678	5,660,000
長期借入金の返済による支出	△1,257,294	△3,671,184
リース債務の返済による支出	△145,834	△253,236
配当金の支払額	△63,171	△63,276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△659,622	72,303
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△77,383	△59,906
現金及び現金同等物の期首残高	645,209	567,826
現金及び現金同等物の期末残高	567,826	507,920

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、生鮮食料品を中心に一般食料品及びファミリー衣料品を販売の主体とするスーパーマーケット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	4,442.97円	4,522.15円
1株当たり当期純利益	242.57円	112.71円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	当事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	306,590	142,453
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	306,590	142,453
普通株式の期中平均株式数(株)	1,263,915	1,263,915

(重要な後発事象)

該当事項はありません。